

出会い ふれあい 助け合い

あべの

NO 81

国連・障害者の十年をふりかえって。

サロン・あべの二月の出会い

平成五年二月二十日(土)、午後一時から四時、育徳コミュニティセンター二階の研修室において、サロン・あべのの二月の出会いを開催した。

この日のテーマは「国連・障害者の十年をふりかえって」であった。

まず最初に「新たな旅立ち」というビデオを見ていただいた。大阪ふれあいキャンペーン実行委員会の企画・提供で、昨年十二月十七日に読売テレビで放送された、障害者問題啓発番組をビデオ化したものである。

内容は、非常に積極的に明るく生きている、障害者とボランティアの姿を追った、ドキュメントであった。

また、このビデオに引き続いて、「原田さん・前田さんご結婚おめでとう」と題して、結婚

式当日の写真四枚をビデオ化したものを披露していただいた。

(制作及びビデオ操作：植松氏)

そして、「国際障害者年」とそれに続く、「国連・障害者の十年」の間にあった変化などについて、参加者全員で話し合った。

ハードの面では：
・ 電動車椅子が普及した。
・ 公共施設の受け入れ態勢が整ってきた。

・ まだまだ完全ではないが、歩道の段差が解消されてきた。
・ お年寄りも、よく車椅子を利用するようになった。
・ デパートや展覧会場でも、車椅子を貸し出すようになった。

・ 少しずつではあるが、駅にエレベーターが設置されるようになった。
・ こんな意見が多く出された。
ソフトの面では：

・ 車椅子が社会に認知された。
・ 市民権を得て、行動範囲が広

がった。

という意見が出された。

ここまでは、社会の側が変化したが、逆に、「障害者自身の変化した」、という意見も出された。

「完全参加と平等」というスローガンを掲げて展開された、国際障害者年。これを「単なるお祭り騒ぎにすぎなかった」という人もいる。しかし、このお祭り騒ぎに乗じて、街に出るようになった障害者も、かなり多いのではないか。つまり、障害者自身の心理的な負担が、軽減されたということである。

一般社会に向けての啓発も大切ではあるが、障害者自身が、自らの権利に目覚め、チャレンジ精神がわいてくるような、そんな啓発も必要ではないだろうか。

参加者二十三名。(上平幸雄)



観心寺のトイレ

中野 君 江

昨秋、観心寺方面へ区身協から日帰り研修旅行につれていってもらった。

幼い頃、当区小学校低学年の時には、必ず遠足に出掛けた処なのに、何一つ思い出せない。途中下車的な観心寺拝観に四〇分と云うので、バスを降りた。

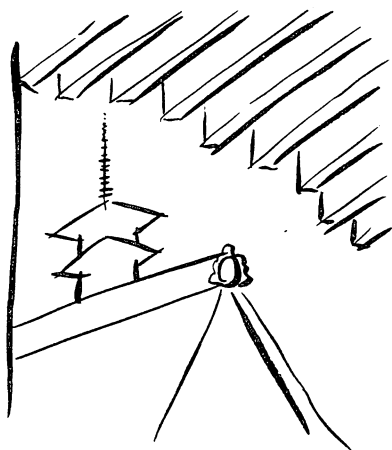
やはり市内とは違い空気が澄んでいる。元気な人達は、さっさと本堂の方に行かれたのか姿すら見えず、中途であきらめた人達と写真をとっていたり、木々のみどりを眺めて時を過ごした。

時間があるので、トイレにでもと歩を進める。お堂の様な新しい建物で、こゝが車いすトイレかと目を見張った。中に入ると広々として明るいのに、二度びっくり。

私達障害者をもって来ている人も各々個人差が

あって、不自由さも違う。でも大部分の方はトイレが一番気にかかっていると云うもの。旅行の朝は、水分もとらず、五〜六時間は行かない様に心掛けている。でも、寒い日や雨の日など三時間位が精一杯。トイレ休憩の時、洋式トイレがあると本当にホッとする。和式トイレでも用をたせるが、何と云っても洋式では安心して用がたせると云うもの。近頃、街の中には洋式トイレが普及しているの、〇〇百貨店のは何階にあると覚えている。

以前などは、朝外出し電車の席が空いていてもすわれず立って行き(すわりにくい



ので)、目的地で用件をすませ電車で又立ちつくし、家につく迄飲まず食はず出さずの六時間。今から思うと地獄だった。

国際障害者年になってから、世の中の人達も障害者への介護に理解して下さる方が多くなり嬉しい限り。

観心寺の様な立派なトイレとまではいかずとも、街々に普通の洋式トイレの数がふえて行く事を願っています。



「完全参加と平等」まだまだ

ついこの間、障害者の「完全参加と平等」にはほど遠いはなしが報道されました。

ひとつは、駅(最近に建った建物や新しく舗装した道路もそうですが)の点字ブロックをデザイン上、美的感覚の点からいまままでの黄色をやめて、周りにマッチする色、

目立たない色に変更したところ、弱視の人からこれでは分かりにくいとクレームが出たはなし。

もうひとつは、バック旅行のとき、同行する人とペースが合わないから、参加する身体の不自由な人やお年寄りの人に対し、障害者手帳の提示、健康状態のアンケートの提出、それに同伴者がつき、介助に責任を持つという確認書を取ることを決めた旅行者のはなし。



↑サロン・あべの2月の出会い

このふたつのはなしは健常者が発想し、障害者側の声を前もってしっかり聞かなかつたから起きたもので、旧態依然とした社会形成のあり方が「完全参加と平等」を遠くしているのでは・・・

(I)

井 感謝します 井
カンパ・切手・冊子・お茶菓子・紅茶・
コーヒー等ありがとうございました。
お礼を申し上げます。

二月のカンパ 金五、〇〇〇円
大阪義肢装具センター(石原栄)、
大塚一枝、金子花江、崎本サキエ、
山城福子、和田保子、匿名二名。(敬称略)

おもろい 姉ちゃん

田淵 美登利

大切な健康管理

つい先日、梅で有名な金熊寺へハイキングに、作業科の寮生さんとお出かけしました。

足の水虫が乾燥して割れているHさんが痛みを訴えるため、傷口にバンドエイドを貼り、さあ出発。

ところが、このHさん、寮を出発前に廊下ですべて尻もちをついてしまい、少し足をひきずりながらの

ハイキングになってしまいました。金熊寺でも、Hさんすべること二回。そして寮に帰って、本人が痛いというので靴下を脱いでもらって見ると、足首がはれているのです。

翌日、整形外科を受診すると、ねんざで一週間の安静とのこと。

本人と話をしても、どの時点で痛めたのか分からず、職員として寮生さんの健康管理に一層の注意が必要だったと反省の事件でした。

親愛なる富田さんへ

まず最初にお手紙と写真をありがとう。そして、私は私が抱えている病気よりあなたの方がもっと大変な病気を抱えておられることがわかりました。私はあなたの指が変形されているにもかかわらず、そんなにはっきりと書けることに大変驚かされました。私も又、右腕に問題があります。私はペンで書くのにサポートを必要とします。でも、私の手紙を読んでわかって下さると願っています。

そして、私はあなたのハンディキャップが4歳の時以来、あなたを痛めつけてきていることにも驚かされました。

これを物ともせず、あなた自身の開発が成功に導いたことをすばらしく思います。

— あなたの医学的な恩恵は、あなたの子供時代よりもよくなっていること。

— あなたには家族があるのですか。なぜならあなたが娘さんのことについて話しておられるから、あるのだと思います。

— あなたはあなたのグループの活動に自分の能力を十分に発揮することを見つけていられること。

— さらにあなたはいくつかの可能性を得ていられること、それは成功した人生と私は思います。

私のハンディキャップは1987年、私が27歳のときにはじまりました。したがって私の子供時代と青春は何の問題もない幸福なときでした。

心理学の勉強と私の最初の仕事を終えることができました。それで私はよい基礎を持ち、リハビリテーションの後には私の職業に戻るこ

とことができました。今私は1990年以来、たった半年の中断があっただけで働いています。

私は結婚していません。私のボーイフレンドは1988年に私から去ってゆきました。

この時以来、私は小さなアパートメントにひとりで住んでいます。私の毎日の生活にどんな助けも必要としていません。私も又私の車でドライブをすることができます。この6年間、私の健康の恩恵は年ごとによくなってきました。

あなたの健康とよき将来を願っています。

あなたの次の手紙を待っています。あなたがどのように毎日を過ごしているかなど、たぶん私に書くことができるでしょ？

あなたに幸多かれとお祈りしています。

ブリギッテ



ブリギッテさんからの手紙

Dear Keiko

First I thank you very much for your last letter and the photos. Now I have a better image of your person, and I could see that you have much more problems by your disease than I have.

I am very surprised that you can write so clearly in spite of your fingers are deformed. I also have problems with my right hand. I tried a support to write with a pencil. But I hope you can ^{read} all my letters.

And I am surprised, too, that your handicap is existing since the age of 4 years. I think it is wonderful that your development in spite of this has been successful:

- your physical state now seems to be better than in your childhood
- you have a family? - I think so because you told about your daughter.
- you ~~have~~ found a fulfilling activity in your group and
- besides you found ways to get some mobility. I think, that's a successful life.

My handicap ~~was~~ ^{is} beginning in 1987, when I was 27 years old. Therefore my childhood and my youth were a happy time without any problems. I could

finish my studies of psychology and my first job. So I had a good base and I could return to my profession after rehabilitation. Now I have working since 1990, only with an interruption of 1/2 year. I haven't married. My boy-friend left me in 1988. Since this time I'm living alone in a little appartement. I don't need any help for my daily life. I can also drive with my car.

In the last 6 years my state of health is getting better every year. I hope you have also a good future with your health.

I am waiting for your next letter. Perhaps you can write me, in which way you manage your daily life?

With the best wishes for you

Brigitte

社会人と社会福祉

卒業式の日ぼくは社会福祉学科の学生たちに、こんな話をしようと思う。「卒業おめでとう。これから君たちは学生から社会人になる。」

少なくとも英語にはないと思う。世間では学生をやめたら、すぐに社会人になれていると思われるが、それは間違っている。会社に入ったら『会社人間』にはなれるかもしれないが、そのまま

では『社会人』にはなれない。福祉施設に勤める人も『施設人間』にはなれない。『社会人』にはなれないかもしれない。社会人になるためには、社会と結びついていなければダメだ。会社と家、施設と家、役所と家、そんなふたつの場所をいつたりきたりしているだけでは、社会人にはなれない。

では、どうすればいいか。ひとが社会と結びつくのは、逆説のように聞こえるかもしれないが、人として独り立ちするときなのだ。社会人に一番ちかいい英語は individual (個人) という言葉にちがいないと、ぼくは信じる。一個の独立した人間として感じ、考え、行動できるとき、ひとは社会と結びつくことができる。

会社にはいって、会社の利益がそのまま自分の幸せと考えるのなら、君は会社人間だ。会社が行なっている不正をみても何も思わない。とすれば社会人ではない。また、施設に勤めても、施設の都合ばかりを考え、利用者の思



お知らせ

4月の出会い

日時 4月17日(土) 午後1時~4時

内容 「食と栄養、そのバランス」

— 肥満防止について —

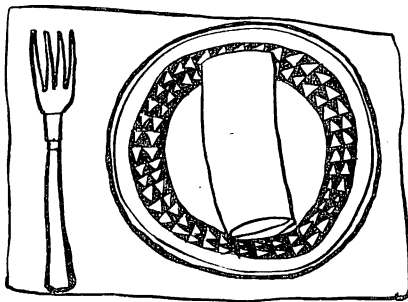
パネラー; 栄養士 大槻惇子氏

場所 育徳コミュニティーセンター2F.
研修室 [大阪市阿倍野区阪南町5-15-28、車イストイレ・ス
ロップ有り]

会費 なし

申込みと問合わせ先

TEL. 06-691-1028 (富田慶子)



いが理解できなくなったら、施設人間ではありえても、やはり社会人ではない。個人として、どんな組織に属していても、それを通り越して、その彼方を見る目をもつとき、社会との本当のつながりができる。

社会福祉の勉強は、本当は、そういう社会人のためにある。そういう社会人だけのためにある。

だから、社会福祉学科を出て会社にはいっても、学校で習ったことが活かせないと思いついてはいけません。会社人間にとつては社会福祉の知識はまっ

たく役にたたないだろうが、会社で働 きながらも会社を越える視点を持ち、 一個の個人として生きていけば、社会 とつながり、ここで学んだことをふり かえるときが必ずくるだろう。

社会福祉の現場に勤める人たちは、 現場にはいっても現場を越えて個人と して感じ、考え、行動してほしい。そ うでなければ学んだことは役にたた ない。『現場と理論とは違う』という言 葉は、現場に埋もれ、施設の狭い枠の なかでしか考えられなくなった人の愚 痴でしかないと思う。」 (知)

Volunteer Center

20

十 今後の課題(1)

ボランティアセンター(VC)の課題としては、VCがどうあるべきかという問題と、ボランティア活動がどうあるべきかという問題が含まれている。七年ほど前にまとめた本論では、①社協の役割、②ボランティア活動のシステム化、③正しい公私関係の確立、④福祉観の転換、⑤ボランティアの主体性の確立の五点をあげた。もちろん、ボランティアをめぐる課題はもつとさまざまなものがあり、また、現時点で考えるところと新たな課題も発生しているが、ここではこの五点を中心にして検討してみたい。

まず、①社協の役割である。本論はそもそも社協でのボランティア育成が活発化する動きを背景にして、その問題点を検討することが中心的な課題であった。したがって、その検討の中では、現状での社協によるボランティア育成の問題点をみてきたわけであるが、しかし、やはりボランティア活動の推進において社協の担う役割は大きいということである。

すなわち、VCは市民の手によって運営されるべきであるが、いかにそれを実現するかということを見ると、市民の側にも行政の側にもボランティアを単なるサービス供給者として捉える考えが強いなかで、行政の援助を受け、かつコントロールされずに運営していくということは非常に難しいと言わざるを得ない。したがって、地域社会とのつながりが強く、地域の権力構造

などの影響を受けやすい反面で、活動が比較的広く地域に受け入れられている社協は、ボランティア活動を広く市民に呼びかけていくうえで、他の機関にできない大きな役割を果たすことが求められるということである。

ただ、実際の状況を見ると、地域によって差が大きいために一概にはいえないが、社協自体がいかに市民に社協とその活動を知ってもらうかということが大きな課題となっていることは否めない。また、社協の実践活動として「校区福祉委員会」の活動が重視されており、その校区の福祉委員さんもボランティア的な活動を行っているなかで、社協活動とボランティア活動の区別があるのかといった問題も生じてきている。

その区別が必要かどうかは別に検討しなければならぬ問題であろうが、市民の主体的な地域福祉活動を推進し、多くの人の参加を得るということが、現在社協に求められている最も大きな役割のひとつであり、そのための具体的に積極的な取り組みが求められているのである。



原田 仁

2



はあとが、はろー!

出会い求めて

富田 慶子

あべのボランティア・ビューローとサロン準備委員会により、昭和六〇年十二月七日に開催された「クリスマス会の集い」は、多くの方々との出会いの場となりました。そして、障害者と健常者が語りあった楽しい余韻を大切にして、サロン準備委員会の活動が始まりました。

翌年からのサロン準備委員会には、看護婦や保母志望、福祉大学等の学生さん方の参加もあり、若々しい雰囲気を感じられる

中、発会に向けて色々な準備が始まりました。また、障害者の方も手話通訳が出来る旭さんが居られたので、聴覚障害者の参加がありました。これで視覚、肢体障害者、健常者等がそろいまして、それぞれの立場からの意見が交わされる中、「出会いの場・サロン」作りをしたいという委員の熱い意欲が話合われました。

会の名称、会の発足日、会場、案内等、その為の準備の手順等々、考える事が沢山ありました。何から手をつけていけばよいのかも解りませんでした。幸いなことにコーディネーターの岡氏をはじめ委員の方が手とり足とりで教えて下さり、発会式の準備が着々と整っていきました。

名称は阿倍野の地から生れるサロンの様な会だからという事で「サロン・あべの」となりました。そして、多くの方に広く知っていただきたいとの願いをこめて会の趣意書と発会式の案内チラシを作りました。

その概要は、「国際障害者年のテーマである「障害者の社会参加と平等」をサロン活動の基本にして、障害者と健常者の関係を介助される人・介助する人という縦関係ではなく、お互いに人間(ひと)として同じ

地域に住む隣人どうしとしての話が出来るとお付き合いをしていきたい。そして、サロンを基点とした地域交流の輪を広げていき、障害者も地域の一員である自覚を持って社会参加出来るノーマルな生活を送られるようにと考えたのでした。

「サロン・あべの」の発会式は、昭和六一年三月二十九日(土)午後一時〜四時、育徳コミュニティセンターホールで開催されました。多くの方に「サロン・あべの」の誕生を知っていただくために、委員の井上氏(印刷会社「セルフ社」)のご好意によって若草色のチラシを作り、区図書館や青少年センター、市立婦人会館等にそのチラシを置くことを願いました。また、案内状もあちらこちらへと、おもむくまゝに送付させていただいたもので、後日ご迷惑をおかけした所も出てきましたが、その時は何も知らない強みと申しますが、周囲への配慮も何も考えるゆとりがありませんでした。

当日の準備等お手伝いは、ビューローグループの皆様がして下さいました。ホール正面には、赤田寿子さまが書いてくださった横幕「サロン・あべの 発会式」の大き

な字が晴れの日を象徴し、会場にえもいえぬ雰囲気をかもしだしてくれました。

そして、期待と不安の中、六〇余名の参加者を迎えました。

記念講演として、「ちがうことこそばんざい、共に生きる社会をめざして」と題し、牧ロ一二氏に話をしていただきました。

「サロン・あべの」の門出にふさわしく、障害も一つの個性であって、お互いに認め

あい、思いやる心が大切。その為には行動や言葉が必要であるけれど、それ以上に大事なものはその人の表情や態度であり、それは相対する人にこちらの想いを伝える力があるというお話で、本当に嬉しく拝聴しました。

また、大阪ボランティア協会の田中美智子様は腕いっぱいのだいじーを持って来て下さいました。あの花の白さは、今も忘れ

られません。

「何をする会かな」と「サロン・あべの」をいぶかしく思いながら参加下さった方、どうなっていくのかしらと不安を抱きながらも協力参加をして下さった方。その多くの人達の色々な想いの芽をサロンという土壌で育てていけたら、一粒の麦として成長していきたい…と希った日でもありました。



ふれ愛

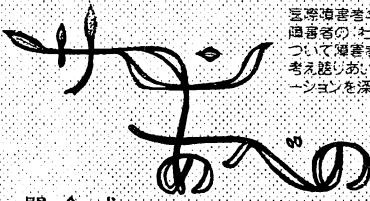
上平 幸雄

空の旅

⑧

高層の学生アパート。その前の広場で、お二人に、UCBでの障害者学生の生活についての話を伺いました。

教室など大学の施設は、本当によく整備されているようです。また、障害者学生に対する様々な援助プログラムも用意されています。援助には大学の中での生活に限らず、重度障害者が、自立生活をしていくた



高等障害者年がたまたまの年
障害者の：七全参加と五障に
ついて障害者と健全者が共に
考え話しあいて次のコミュニケ
ーションを深めていきますが

開 会 式 開 設

日 時 昭和61年3月29日土 午後1時～4時
場 所 育徳コミュニティセンター1階ホール
地下鉄富田駅 北西角 徒歩5分

記念講演「ちがうことこそばんざい、共に生きる社会をめざして」
グラフィックデザイナー、大阪市立大学・
桃山学院大学 障害者学選抜非常勤講師
牧 ロ 一 二 氏

会 費 300円 (お年寄り・学生は半額、聴覚がはかまで3月22日まで)

「サロン・あべの」のメンバー募集します。
毎月お三土曜日 (PM1:00～4:00) サロンを開きます。
場所：育徳コミュニティセンター 2階研修室(スロープ、車イストイレ有)

- ボランティアの方お申込み下さい。
- 障害者の方参加希望の申しこ下さい。
(お申し込み料、送料、送料)

お申し込みとお問い合わせ
あべのボランティアビューロー
坂神電 5・15・28 育徳コミュニティセンター内 〒594
TEL 06-6229-3434 月・水・土 PM1:30～7:00
富田 夏子 TEL 06-697-1023

発会式を知らせるチラシ

めの訓練も含まれています。

また、自立生活に必要な介護人に対する費用なども、連邦や州から出ています。その根拠は、リハビリテーションの一環のようです。

最近、州の財政が苦しく、これらの予算を減らそうとする動きがあるようですが、これに反対する運動にも取り組んでいます。ダニーさんの電動車椅子に貼られた、大統領候補・クリントンを応援するステッカーが、心に残りました。

八月二十八日は、パークレーをあとに、サンフランシスコに向かいます。

午前中は、ゴールデンゲートブリッジなどを観光しました。

そして市長直属の福祉コーディネーターであり、自身も電動車椅子に乗っている、ポール・インペリアさんに迎えられて、サンフランシスコ市を表敬訪問をしました。ちょうど大リーグのサンフランシスコ・ジャイアンツが、移転してしまうかもしれないときで、「SAVE OUR GIANTS」と書かれた大きな垂れ幕がありました。

次に訪問したのが、障害者リクリエーションセンターです。

スポーツなどのリクリエーションを中心にした遊戯療法を行う施設で、利用者は五歳から百歳以上まで。利用は無料ですが、ある程度プログラムが決まっており、許可されない利用はできません。

写真は、ぼくたちも仲間に入れてもらって、軽くて安全な、プラスチックのボールとバットで、ベースボールをしているところです。バッターとランナー以外は全員が守備をしているようなものですが、ものすごい応援もあって、とても楽しいゲームでした。

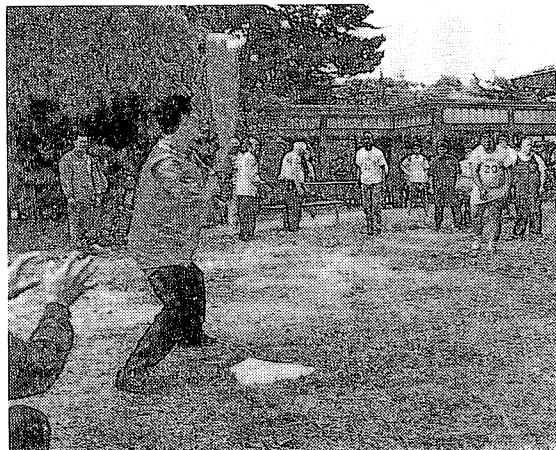
ナンペイの

ひとこと&ふたこと。

積もり積もって

街中に落ちているアルミの空き缶のプルトップ(缶ジュースなどの飲み口の部分のリングのことです)を拾い集めて、業者に

そして、この夜は本物の大リーグ観戦が予定されていたのです。



買い取ってもらいそれを資金として車椅子の一台でも買って、施設に寄付してお年寄りか誰かの役立ててもらえれば...

当然の権利ではあるかもしれないけれど

も「福祉という恩恵」をいつも一方的に受けている私たちが、ささやかではあるけれど何かの形で社会に「お返し」ができればと思いつつ続けてきたひとつの活動。

三年ほどの年月が経ち、ほんとうにたくさんの方々のご協力を得てようやく今年に入って取り敢えずは一つの区切りの金額である「一万円」を越えることが出来ました。以前にもこの欄に書かせていただいたこ

〆 サロン・あべの紙の

朗読テープが出来ました 〆

山本敏子さんのご協力で、サロン・あべの紙八〇号の録音テープが出来ました。

バックナンバーは三九号から、八〇号の分があります。五〇号は五周年記念紙になっており、九〇分と六〇分の二本のテープに収録されています。

サロン紙朗読テープをご希望の方には、ダビングをしますので、富田までお申し出下さい。

(☎ 〇六〇六九一一〇二八)

ともありますが、最初はなかなか買い取ってくれる業者が見つからなかったり、見つかってもいろいろな事情から二転三転したりで不安定な事もありましたが、ようやく最近になって決まったところに買い取って貰えるようになりました。

そのうえ、ハサロン・あべのVにかかわっておられる人達のピーアールのお蔭やら、「サロン誌」を読んでいたいただいたお蔭やらで、毎週のように山のようにアルミ缶を車で運んできていただける方もおられます。勿論、以前にも書いたと思いますがわが家に来てもらっているホームヘルパーさんにも家族ぐるみで協力していただいていますので、まさに「うさぎ小屋」のわが家の前は絶えずアルミ缶が山のようになっているのです。

ただ借家住まいの辛さ、アルミ缶の山の「成長」を喜んでばかりはいられず、おおよさんの「眼」を気にかけながらも業者のところまで運んでもらえそうな方を探しているのです。幸い、今のところ「ハンズ」の仲間の一人と、近くの友人が車をお持ちで快く運んでくれているのですか、どちらもお忙しい身のこと、なかなか思うようには行かないのが現実です。

そんなわけもあるので、みなさんに胸をはっての報告とは程遠く、まだまだ車椅子の一台すらも買えない金額ではありますが、区切りの金額である「一万円」を達成できましたという報告と、あらためての皆さんへお礼を「サロン誌」の紙面をお借りして述べさせていただきます。

更に、今後ともご協力をおねがいたします。
南光 龍平 仁子

美智子のこんな話



岸田 美智子

知的障害者のガイドヘルパー制度ができたけれど……

この二月からまた、障害者が地域で生きるための制度が新しくスタートしました。

これは私達が、長年要求してきたものであり、知的障害者の制度はいつも、取り残されてきたので、とても期待していききたいと思います。

でもこの新しくできたガイドヘルパー制度も、またまた入所施設の知的障害者は、対象外とされてしまいました。

でも今、各市がやっているガイドヘルパー制度は、家に帰った時と家から施設の往復の場合のみ、入所施設障害者も利用できるそうです。このような利点を利用して施設障害者もどんどんこの制度を使っていて欲しいと思います。

そして、施設からの外出も一日でも早く適用されるようになればと思います。

この知的障害者のガイドヘルパー制度の概要を掲載します。どんどん広めていって下さい。

○精神薄弱者の外出介護をおこなう

ガイドヘルパーを派遣します

単独で外出が困難な知的障害のある方が、外出する時に、ガイドヘルパーが付きそってお世話し、障害者の自立と社会参加

を促進する事業をおこなっています。

○対象

市内にお住まいの原則として十八歳以上の在宅の方で、障害の程度(A)または中度(B1)で、ひとりでは外出することが困難な方。(ただし、大阪市全身性介護人派遣事業を利用していない方)

○サービス内容

障害者の外出に付き添い、必要な介護などをおこないます。

○外出の内容

障害者の自立や社会参加の促進に有益と考えられる外出や普段の生活の中で必要な外出。(ただし、通勤や営業には使えません)

○派遣時間

一ヵ月あたり四二時間以内です。

○ヘルパー

障害者本人や、その家族の推薦によって大阪精神薄弱者育成会に登録されている方。ただし、親族はヘルパーになることはできません。

*介護を行った場合、育成会からヘルパーに手当が支給されます。

お問い合わせ先 各區福祉事務所

80号の中野君江さんの「洋服と私」の出会いに、ウンウンそのとおりと共感するお便りがとどきました。陰気にみえず、そしてなおかつ気がひけない色で着やすい服、こればかりは人まかせに出来ませんものね。前号からはじまった「はあとが、はろー！」にもお便りください。
本紙は<100号まであと19>(石)

編集後記

編集人：サロン・あべの運営委員会・<サロン・あべの>NO.81['93.3.20発行] 定価¥100.
代表：上平幸雄〒545 大阪市阿倍野区阪南町2-20-19-203 電話06-621-4365
連絡先：冨田慶子〒545 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26. 電話06-691-1028
表題：斉藤孝文・筆
印刷：セルフ社〒545 大阪市阿倍野区西田辺町2-2-10-101. TEL.06-691-2365.